和漢名畫苑

雪舟家 三

チ 4
4319
3

門 チ生
號 4319
卷 3

六冊之内

龍谷大學圖書館
昭28.3.6
藏書

和漢名畫苑

三卷目錄　雲舟家之部

雲舟等楊筆　渡唐天神
雲谷等禪筆　山水　觀音
雲谷等薩筆　達磨　桃雀
雲谷等梅筆　山水　梅
雲谷雪林筆　梅鶯
雲谷等悅筆　菊つるめ
雲谷等益筆　恵まの屋生

門人宗淵筆　山水
雲谷等碩筆　朝月師　五仙人
雲谷雪汀筆
雲谷等藝筆
雲谷等傳筆
雲谷等与筆
雲谷等尒筆

四明天童第一座雪舟等楊圖

雪舟等楊筆

雪舟等楊筆

雪舟筆

宗淵筆

宗淵筆

雲谷等禪筆

雲谷等禪筆

朝月師

雲谷等禪筆

等碩筆

鄭全福

鄭全福ハ河西深梁の人なり唐文宗乃時新安の諸靈祠小ハて修練せず其後蓮華祠に居ること一人ゐ赤箱ありて

老小船を借りて赴深小祠に

梅福

梅福字子真壽春の人なり漢の成帝の
朝に尉となり後仙道を修めよく
隠遁して諸山をめぐり遍し

後仙寵山に入りよく僊となり
庚桑小桑一て
飛ひさる

上元夫人

上元夫人ハ漢の武帝ノ時元封元年
七月七日小帝ニ告テ曰ク我ハ清虚ノ
上元ノ人ニテ玄ク晃ハ三天ニ望ノ
毎ニ下リ鸞ニ駕シ霊ノ袍ヲ服シ
羽ノ蓋ヲ建テ儀ハ設シテ擁ス
ル所ノ玉女十二人ニ侍衛セラルヽ

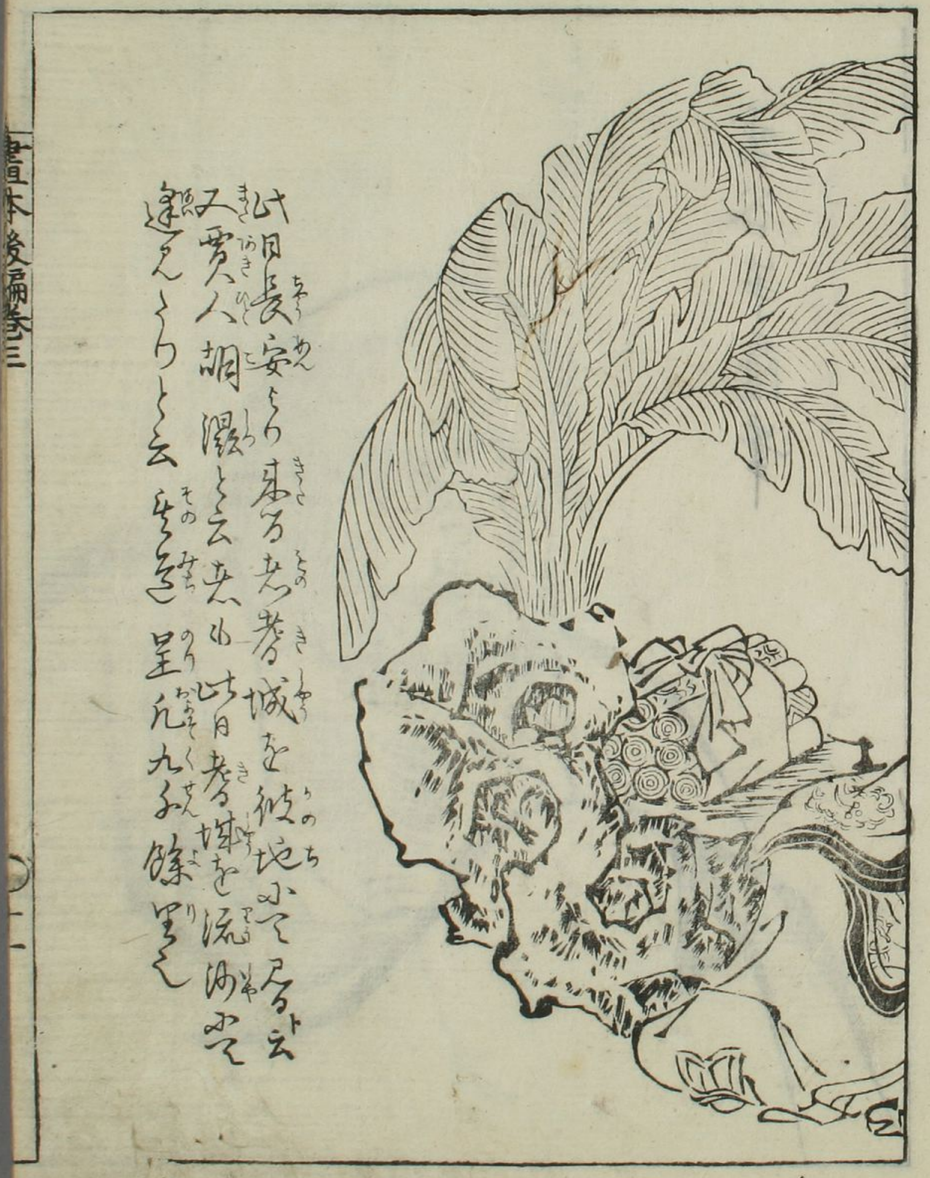
劉女

劉女は汀州の劉安上がむすめなり齢
しとて雅興に九才ばかりにて羽人
と遊を談じ淫慾をたちまち忘れ一つの
句越客何ら宇らくまれ劉女ゆえ

飛仙去れ好の詩ぶ

白鷺乘去人何在
青鳥飛來信已遥

昔城
昔城は天竺の人なり両虎ひうまをつれて
そのかしらを撫小兒耳をまた咬てあそぶ
一日衆かれ多くあつまりおのおの
かいくれ人をおくらせろく早きことなふるものの
なし



北月長安ちう昔城を彼地にて号ス云
又貴人胡濁ると云ふ昔城を流沙の
邊ちうと云ふそのかたち呈元九ふ餘里と

雲谷等顧筆

等顧筆

雲谷雪汀筆

雲谷雪汀筆

ゴマハスミクマノ下

楮
雲谷等楳筆

雲谷等楳筆

雲谷等藝筆

等藝筆

等傳筆

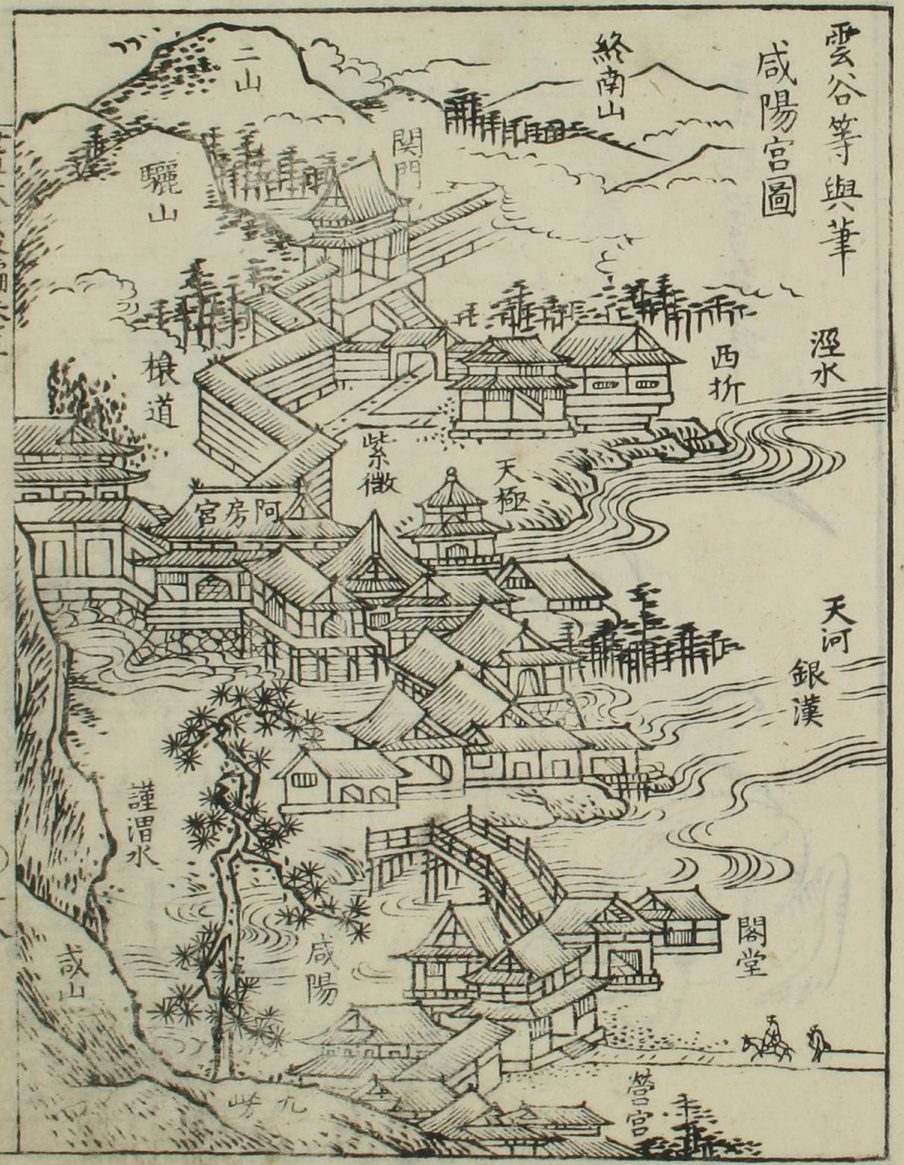
雲谷雪林筆

雲谷等悅筆

雲谷等悅筆

雲谷等與筆

咸陽宮圖



雲谷等悅筆

呂々律（ロウ〳〵ラ）

雲谷等白筆

雲谷等益筆

雲谷等益筆

ヤイカハ
石田屋
十七ノ町

雲谷等仝筆